



「スマートアシスト」搭載車両の累計販売台数が200万台を突破

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）が販売する衝突回避支援システム「スマートアシスト」搭載車両の累計販売台数が2018年11月末時点で200万台を突破^{※1}した。

「スマートアシスト」は、2012年12月にマイナーチェンジして発売した「ムーヴ」で初搭載。軽自動車ですべて初めて衝突回避支援ブレーキなどの先進デバイスをお求めやすい価格で採用した。2015年4月には、従来のレーザーレーダーに加え、単眼カメラを搭載した「スマートアシストII」へ進化。さらに2016年11月には、世界最小^{※2}の小型ステレオカメラを搭載し、衝突回避支援ブレーキ機能が歩行者にも対応する「スマートアシストIII」へと進化。さらに2018年5月には軽商用車「ハイゼットトラック」用の「スマートアシストIII t」を追加した。

現在は、軽自動車11車種、小型乗用車2車種、計13車種にスマートアシストを搭載し、軽乗用車「コペン」を除き、乗用車から商用車まですべての車種に搭載している。現在スマートアシストの搭載比率は約8～9割となっており、その機能とお求めやすい価格でお客様からご好評いただいている。

ダイハツは今後もより多くのお客様に安全・安心をお届けすべく、スマートアシストの発展と、積極的な普及促進に取り組んでいく。

【スマートアシスト搭載車種一覧】

		車名	スマートアシスト初搭載年月	現在の搭載バージョン
軽自動車 (11車種)	乗用車 (8車種)	ムーヴ	2012年12月	スマートアシストIII
		ミライース	2013年 8月	
		タント	2013年10月	
		ウェイク	2014年11月	
		キャスト	2015年 9月	
		ムーヴ キャンバス	2016年 9月	
		アトレー ワゴン	2017年11月	
		ミラ トコット	2018年 6月	
	商用車 (3車種)	ハイゼット キャディー	2016年 6月	
		ハイゼット カーゴ	2017年11月	
		ハイゼットトラック	2018年 5月	スマートアシストIII t
小型車 (2車種)	乗用車 (2車種)	ブーン	2016年 4月	スマートアシストIII
		トール	2016年11月	

※1：スマートアシスト、スマートアシストII、スマートアシストIII、スマートアシストIII tの合計。OEM車両を除く。ダイハツ調べ
 ※2：2018年11月30日時点。ダイハツ調べ